

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名 グループホームふなお

日 付 平成17年3月15日

評価機関名 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

評価調査員 病院（老人病棟）での看護業務歴 18年
在宅介護支援センターでの相談歴 11年、 家族介護歴 3年

自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）

評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）

事業者のコメントを見る
（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）

外部評価の結果

概評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

・近くには、船穂町の特産であるマスカットのビニールハウスがある、静かな農業地帯の中に位置するグループホームです。また、高速道路、国道2号線、JR新倉敷駅が近くにあり、交通にも便利です。

・建物にはグループホームの表示はなく、一般家庭のようです。

・建物は、木造で天井は高く、天窗からは自然の光が取り入れられ、温かみのある造りです。

・管理者は、介護で悩むことのない微笑の街づくりを目指し、高齢者の介護に意欲的・前向きに取り組んでおられます。

・玄関は開放的で、通りすがりの方や、近くで作業される方も気安く訪問されています。訪問者にはお茶の接待をし、地域の方との交流を大切にされています。

・入居者は、希望した時いつでも外出することができ、職員はその都度見守りのケアを行っています。帰宅願望の強い方に対しては、管理者と一緒に外泊をし、酒を酌み交わすこともあります。

・職員は、入居者と家族のように接し、本人の希望をできるだけ叶えてあげられるような介護をしていきたいと考えています。

特に改善の余地があると思われる点

・入居者の生活歴についての情報が少ないように思います。入居後の生活に反映させるためにも、情報は必要ではないでしょうか。

・入居者一人ひとりの行動をアセスメントしたうえで、「思い」をかなえてあげられるような支援が必要ではないでしょうか。他の入居者への影響、バランス、危険への配慮等が課題かと思えます。

・表通りに面してベランダがあり、洗濯物が干されていますが、下着については干し場を変えられてはいかがでしょうか。プライバシーについての配慮がもう少し必要ではないでしょうか。

・介護計画や記録に個性がみられません。1～3ヶ月の短期目標の見直しもされていませんでした。また、入居者や家族に対する介護計画の説明や同意が得られていませんでした。

・基本的に記録よりは実践との思いが強いのですが、記録の必要性と活用方法について、見直しが必要ではないでしょうか。夜間の記録もほとんどありませんでした。記録は職員間で共有して、次への介護に活かされるものであることが求められていると思います。

・事故についての記録類がありませんでした。事故が発生したら、再発を予防するために職員間でよく話し合い、対策を立てられることが必要ではないでしょうか。ヒヤリハットについても報告のシステムをつくり、情報を集めて分析し、事故を未然に防ぐ方法を検討されてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目 グループホームとしてめざしているものは何か			
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭的な環境の下で、入居者が自由に生活を営むことができるよう支援していききたいと考えています。 ・このグループホームに自分が入るとしたら、自分の家族が入るとしたらと常に考え、入りたいと思えるようなグループホームにしていきたいと考えています。 ・職員も入居者も、みんなが家族の一員と思えるようなグループホームを目指しています。 			

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か			
<ul style="list-style-type: none"> ・バタバタと時間で業務をこなしていくのではなく、入居者のペースに合わせるように心がけられます。 ・話をゆっくり聞いてあげる時間ももてるように、食事の後もゆっくりお茶を飲んで、ゆとりをもって片付けに取り掛かるようにしています。 			

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人で行えることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせて調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か			
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の生活の中で、入居者の経験を活かした活動ができるように支援したり、尊敬の念をもって接するように心がけています。 ・入室時は、ロック、声かけをし、返事を確認してから入るように心がけています。 			

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目 サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か			
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者が、このグループホームの中で自由に生活できるように支援していくことを目標としています。 ・問題が発生したときには、管理者に報告し指示を受けています。 ・ヒヤリハットや事故報告書の記録はなく、対策についてみんなで話し合う機会が、現在はありません。 			